

「ガバナー補佐として」

国際ロータリー第2640地区IM5組

ガバナー補佐 西浦 能兼 (松原ロータリークラブ)



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私の担当は三軒ガバナー様のお膝元IM5組12クラブの内の6クラブです。

ホームクラブ松原の子クラブに当ります藤井寺、美原、松原中RC様と孫クラブの藤井寺しゅらRC様、そして、羽曳野RC様であります。各クラブ様には、いつも温かくお迎え頂き感謝致しております。

振りかえりますと一昨年(2005年)12月、RI日本支局より「ガバナー補佐研修の手引」が送られてまいりました。この手引書の予習が仕事の始まりで私にとっては丁度一年を迎えた思いです。PETSから始まるクラブ会長様の思いも同じだと思います。

あつと言う間に半年が過ぎ、各クラブ様では上半期の総括を頂いた事と思います。

今一度、三軒ガバナーの地区運営方針を確認頂き、年次計画未達の部分は4月の地区大会をZラインとする気迫でお取り組み頂きたいと願っています。特に私は、出席率の向上はメイクアップで90%、ロータリーらしい社会奉仕と言われる三軒ガバナーの視点に深く感銘いたしました。実は、私が最近感じることはクラブ奉仕部門が低調であると思えてなりません。

「難解だ」「ややこしい」からとロータリーの綱領や定款・細則に目を背けず理解しなければ折角の活動も十分な成果をあげられないと思います。倫理と慈愛を高い理念として持ち“四つのテスト”という行動規範で身を律し、現実的な社会に即して忍耐強く理想を追求するロータリーの運動は人類不偏の道です。下半期は「温故知新」ロータリーの歴史に学んで責務を果たしたいと思っています。

2006～07年度運営方針

- 1.RIテーマの活用
- 2.出席率の向上(メイクアップで90%)
- 3.ロータリーらしい社会奉仕を
- 4.世界社会奉仕プログラムの実施
- 5.地区大会へ出席を！

(4月14日～15日・スイスホテル/ラブラリーホール) 6.国際大会への参加を！

(6月17日～20日・米国ソルトレイクシティ)

(RI第2640地区マンスリーレター・2007年1月号より)